NYHA心機能分類　問診・判定用紙

心疾患に伴う症状が、どの程度の活動で現れるかを確認します。

対象者ID　　評価日時

判定者　　回答者・情報源

01　本人に聞く　｜　質問例と記入欄

普段の生活を思い出して答えてもらいます。その場で動作を再現する必要はありません。

安静時　座って休んでいるとき、息苦しさや胸の不快感はありますか。

通常の活動　普段の外出や家事で何をすると、どんな症状が出ますか。

軽い活動　着替えや室内の短い移動でも同じ症状が出ますか。

活動の条件　速さ、荷物、休憩はどうでしたか。膝痛や麻痺などの影響はありますか。

02　心疾患による制限を判定　｜　該当する一つに○

I	通常の活動で過度の疲労、動悸、息切れ、狭心痛を生じず、活動制限はない。
II	安静時は快適。通常の身体活動で症状が現れ、活動が軽度に制限される。
III	安静時は快適。通常より軽い身体活動で症状が現れ、制限が著しい。
IV	どの活動も苦痛を伴い、動くと増悪する。安静時にも症状を伴うことがある。

判定　NYHA　I　・　II　・　III　・　IV

根拠となる活動・症状／前回との差／判定を保留した場合はその理由

分類出典：NYHA Criteria Committee, 9th ed., 1994, pp.253–256（AHA掲載）。問診例・記入欄は独自編集。

SASは別紙で医師が問診します。全21項目と判定手順（札幌市掲載・厚生労働省事務連絡）

https://www.city.sapporo.jp/library_documents/mets.pdf